

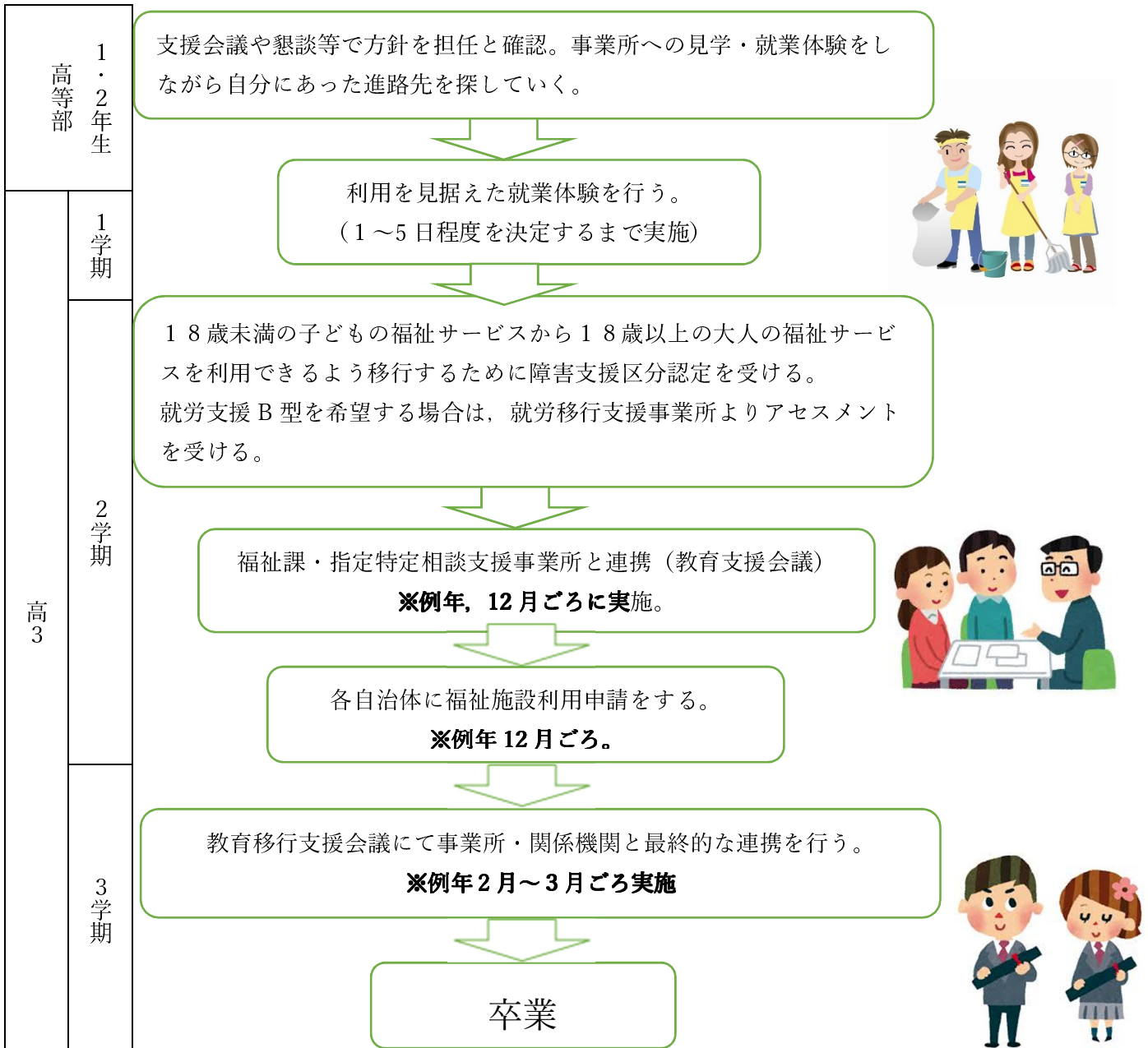
進路だより

初秋の候、厳しい残暑も和らいでまいりました。今回の進路だよりは、高等部における進路決定までの道筋と小学部での進路学習の捉えについて掲載しました。まだまだコロナ禍の続く、異例続きの今年度ですから、例年以上に職員と本人・保護者との連携が大切になってきます。よろしくをお願いします。

【進路決定までの道筋】

高等部では進路決定に向けて就業体験や進路先との連携を行っています。

ここでは本校生徒の進路先として最も多い福祉事業所等の決定までの道筋をまとめています。



上の図に示している通り、福祉事業所を利用する場合は各自治体へ12月ごろに利用申請が必要です。そのためそれまでに利用する施設及び日数等をきめておくことが望ましいです。高等部の早い時期から就業体験を行ったり、事業所との連携を深めていったりすることが大切です。

※に示している時期は目安です。特に福祉施設利用申請の時期については各自治体に確認が必要です。

【小学部と進路学習】

小学部で、進路学習を卒業後の進路先についての学習と捉えると、中学部や中学校について学習するということになります。確かに6年生になると、様々な教科や単元でそういう内容の学習をします。ですが、今回はもっと「進路」を広く捉え、紹介したいと思います。

「キャリア教育」という言葉を聞いたことがありませんか。「キャリア教育」とは「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」(※引用1)で、「キャリア」とは、「人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見出していく連なりや積み重ね」(※引用1)とあり、「キャリア発達」とは「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」(※引用1)と説明されています。

西条特別支援学校の児童・生徒たちを思って表現を変えると、「誰もが社会とのつながりの中で、役割がある大切な一人一人です。その自分自身の価値と役割と生きる力を自分自身で見つけ出したり、周りに見いだされたりする過程が、社会や人とのつながりの中での様々な活動であり、学校での教育活動です。」ということではないでしょうか。

本校にも「キャリア教育全体計画」というものがあり、小・中・高と段階を追って目標を定めています。その中の小学部の目標は「生活に即した体験的な学習に参加し、なかまや身近な人と協力して活動することによって、人と関わる楽しさや社会への関心をもつ。」となっています。

小・中・高が一つの行事を共有する体育祭や文化祭、小学部全体でおこなう学部集会は、多年齢集



写真：昨年度の小学部集会
「1年生を迎える会」より

団だからこそその社会形成能力や人間形成能力を延ばす場になっていたり、先輩の姿を日常の中で見ながら課題解決のヒントを見つけたり、チャレンジする意欲を見出したりできる場なっています。校外学習や社会見学に類する学習は社会を学び、社会参加していく自信につなげていく学習であり、表現活動や図工・音楽などは、表現す

ることの楽しさや自分を表現する自信につながる学習です。様々な学習が「生きる力」につながっていくことを意識して取り組んでします。

今年度の学校教育目標は「チャレンジしよう～知りたい！伝えたい！やってみよう！～」です。どの子にも中にも必ずある「知りたい！伝えたい！やってみよう！」を児童と一緒にそしてその児童に関わるたくさんの人と一緒に考え、見つけていくことが、小学部の進路学習です。

※引用：中央教育審議会「学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」

平成23年1月31日